

令和6年度の事業報告

1. 来館者について

(1) 来館者数の推移集計

令和6年4月から令和7年2月までの来館者数の推移は表1、図1～2のとおりです。上半期は来館者数が昨年を上回りました。春にミニ展示を実施していたこと、夏に開催した「むしのうんこ展」がTVや新聞などの広報に盛んに取り上げられたことが理由と考えられます。秋の展示「撮っちゃったたんば」開催期間は、昨年よりも来館者数は落ち込んだものの、自由記述のコメントから丹波市内の来場者から好評であることが伺え、今後も1, 2年おきに実施していきたいと考えています。同様に、冬の「檜皮茸展」では来館者数が伸びなやんだものの、自由記述のコメントに特別展について言及する方が多く、地域の伝統技術に関する関心の高さが伺えました。

表1 令和6年度月別入館者数 ※（ ）内は前年度同月比

月（開館日数）	機械カウント[人]	有料入館者数[人]	入館料収入[円]
4月 (25日)	2,910(102.8%)	242(69.1%)	46,970(66.3%)
5月 (27日)	2,677(113.5%)	260(70.8%)	52,840(75.9%)
6月 (26日)	2,340(114.2%)	194(88.6%)	34,580(87.3%)
7月 (26日)	3,567(110.5%)	441(106.5%)	83,180(105.5%)
8月 (27日)	4,424(120.5%)	803(158.7%)	158,850(159.6%)
9月 (25日)	2,362(96.7%)	406(153.8%)	81,850(152.2%)
10月 (27日)	2,391(89.5%)	184(63.9%)	34,680(65.7%)
11月 (26日)	2,024(85.7%)	266(156.5%)	42,990(133.6%)
12月 (24日)	1,298(84.7%)	76(79.2%)	15,390(78.5%)
1月 (24日)	1,395(99.3%)	96(63.6%)	17,850(63.8%)
2月 (24日)	1,299(88.3%)	143(115.3%)	22,990(91.4%)
3月 (26日)			

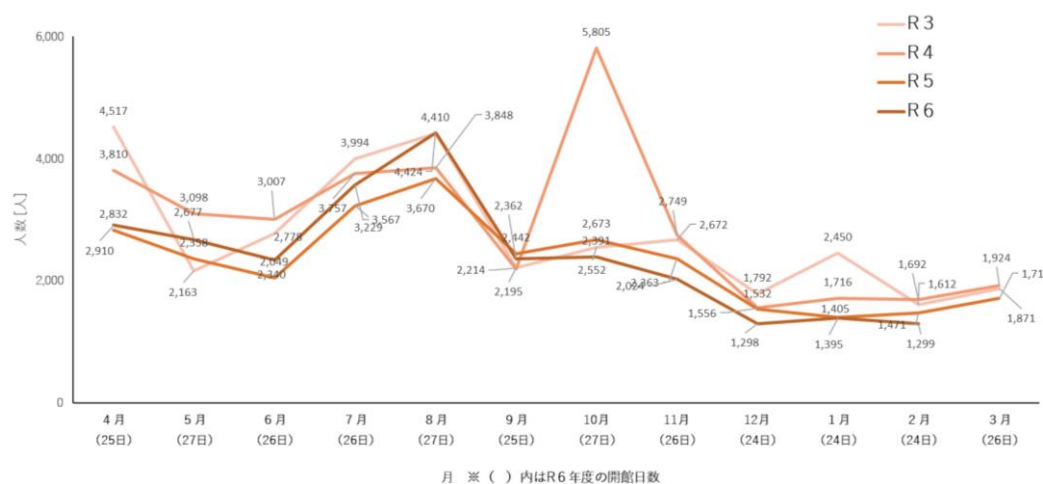


図1 令和3～6年度 月別入館者数

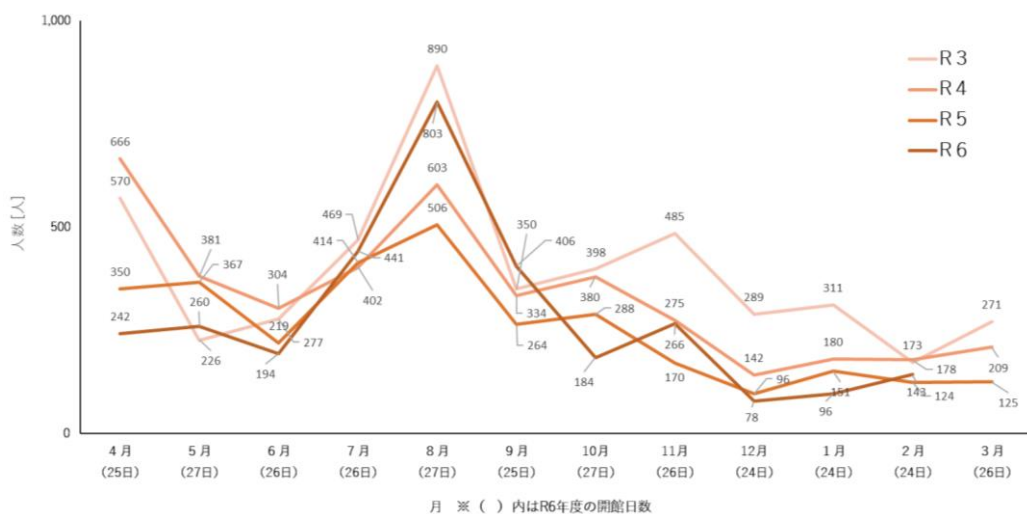


図2 令和3～6年度 月別有料入館者数

(2) 来館者アンケート集計

① アンケート集計

令和6年4月1日から令和7年1月31日までに収集したアンケート588件について集計しました。常設展の観覧チケットを購入した方を対象にしています。年代、お住まいの地域、当館を知った媒体、交通手段、来館回数、感想（任意）について回答いただいています。

年代別の来館者数は図3のとおりです。40～50代を中心として、比較的どの年代もバランスよく来館している結果になりました。

当館を知った媒体の回答については図4のとおりです。令和4年度からのデータと比較すると、どの年度も「近くにきて」が最多であるものの、令和5年度・令和6年度はHPやInstagramといったウェブ媒体を見てこられる方の割合が増えていることが伺えました。令和6年度は昨年度と比較してテレビ・新聞の割合が増しました。

来館回数の回答について、「市内」と「その他の地域」のリピーターの割合を図5のとおり集計しました。丹波市内にお住まいの来館者がリピーターとして一定の割合で来ていることがわかりました。

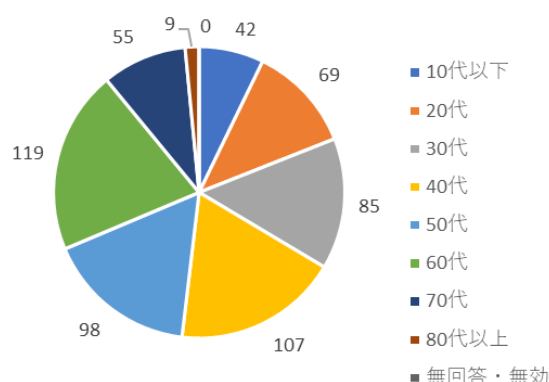


図3 年代別来館者数

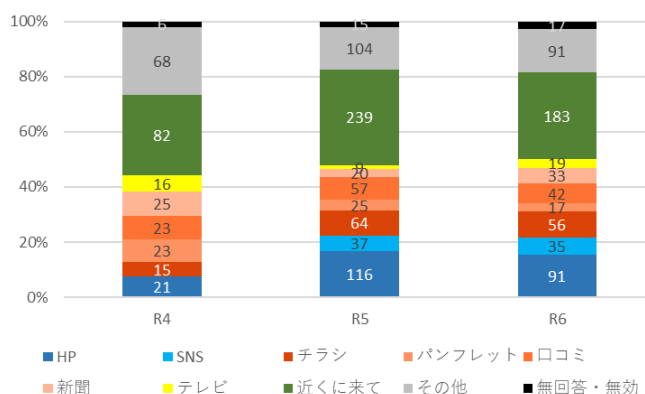


図4 令和4年度～令和6年度 広報媒体別来館者数

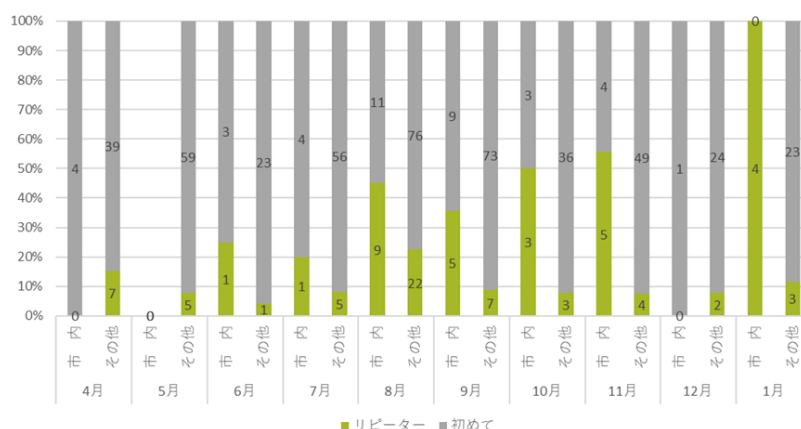


図5 令和6年度市内とその他の地域のリピーター割合

②自由記述集計

自由記述部分を内容に応じておおまかに分類して集計しました。昨年度と同様に「勉強になった」という声が多く、常設展の評価が高いことが伺えます。一方で、「スタッフのフォローがないと何をしたらよいのかわからない（キネティックサンド）」「もっと展示内容を難しくして欲しい」という意見も見られました。

その他のコメントを抜粋すると、「こじんまりしていて過ごしやすい」「ゆったりと過ごすことができた」「観光地化していないのでゆっくりとみることができた」といった意見が見られました。

【ポジティブな意見】

自然・風景 8 件
 子どもの遊び場 32 件
 施設がきれい 30 件
 スタッフの対応 10 件
 勉強になった 215 件
 企画展・特別展 81 件
 その他 96 件
 無回答 100 件

【コメントなど】

宣伝が足りない 12 件
 案内が足りない 5 件
 解説が足りない 10 件
 変化がない 1 件

常設展チケット購入者に限定してアンケートの記入を依頼しているため、リピーターの意見が過小評価になることに注意が必要です。この問題を解決するには、シールを貼り付けて回答するタイプのアンケートを用意するなど、水分れフィールドミュージアムの「ゆっくりと過ごすことができる」雰囲気を損なわずに気軽に回答できる工夫が必要になると思います。

2. 企画展およびワークショップについて

(1) 令和6年度に実施した展示およびワークショップ

令和6年度に実施した企画展およびワークショップは表1～4のとおりです。

表1 令和6年度 企画展・特別展

企画展名	協力	会期	日数 (休館日除く)	来館者数
春季企画展 「丹波のむかしばなし」展	丹波市立中央図書館、兵庫丹波の森協会、兵庫県森林動物研究センター、丹波市立柏原歴史民俗資料館・田ステ女記念館	3月30日(土)～5月19日(日)	44日	5,388人
夏季特別展 「むしのうんこ展」	伊丹市昆虫館、ならまち糞虫館	7月10日(水)～9月29日(日)	71日	9,743人
写真展 「撮っちゃったたんば2024」	合同会社ワタナベカンパニー	10月12日(土)～11月24日(日)	38日	3,366人
冬季特別展 「檜皮葺展」	㈱村上社寺工芸社、㈱友井社寺、㈱大野檜皮工業、丹波市立上久下小学校、きしわだ自然資料館、兵庫県立人と自然の博物館	12月18日(水)～2月16日(日)	48日	2,657人

表2 令和6年度 館内展示（会場貸出）

企画展名	会期	日数 (休館日除く)
学校教育課主催 「ふるさと教育展示会」	3月1日(土)～3月13日(木)	11日

表3 令和6年度 出張展示ほか

内容	日時	場所
青少年のための科学の祭典2024	7月28日(日)	市民プラザ・ポップアップホール
第59回兵庫県中学校理科研究大会 丹有大会	11月15日(金)	丹波市立山南住民センター やまなみホール
合同ワークショップ 丹波竜フェスタ2024	12月1日(日)	丹波市立山南住民センター
人と自然の博物館「共生のひろば」	2月11日(火・祝)	兵庫県立人と自然の博物館
市ミュージアム合同企画展 職員の推したい一品	1月11日(土)～2月24日(月・祝)	柏原藩陣屋跡

表4 令和6年度ワークショップ

月 日	曜日	内 容	参加人数
4/28	日	紙芝居「丹波のむかしばなし」	5
5/3	金祝	ランチョンマットづくり	4
5/5	日	缶バッチ（1階ロビー）	7
5/6	月祝	紙芝居「丹波のむかしばなし」	4
6/1	土	ジオの教室in丹波	22
7/15	月祝	昆虫採集と虫のお話	18
7/28	日	生物に触れる夏の自然探索！（友の会共催）	13
8/4	日	むしのうんこのお話会	14
8/17	土	昆虫のスケッチ講座	10
9/23	月祝	封入標本づくり（友の会対象）	7
9/28	土	骨格標本づくり（友の会対象）	3
10/20	日	写真の撮り方講座①	4
11/2	土	"のこす"ということ ～博物館のお話と樹脂標本づくり～	中止
11/10	日	写真の撮り方講座②	4
12/15	日	環境学習講演会（友の会主催）	23
1/18	土	檜皮葺体験	19
1/25	土	檜皮コースター	13
2/1	土	檜皮葺体験	13

（2）展示関連ワークショップのアンケート集計

各ワークショップ参加者を対象にアンケート調査を実施しました。年齢、お住まい、当館を知った広報媒体、ワークショップの満足度（学ぶことはあったか、楽しかったか、また参加したいか）について回答いただいています。

そのうち、企画展・特別展関連ワークショップ（8件）について、年代・お住まい・満足度の回答結果を企画展別に集計しました。満足度は5段階評価の平均点を算出しました。

①春季ミニ企画展「丹波のむかしばなし」

丹波市中央図書館・公益財団法人丹波の森協会に保管されている「丹波のむかしばなし」の絵本原画を借用して展示しました。市内の語り部グループにお越しいただき、紙芝居を実施しました。紙芝居は受付を設けなかったため、アンケート調査は実施していません。



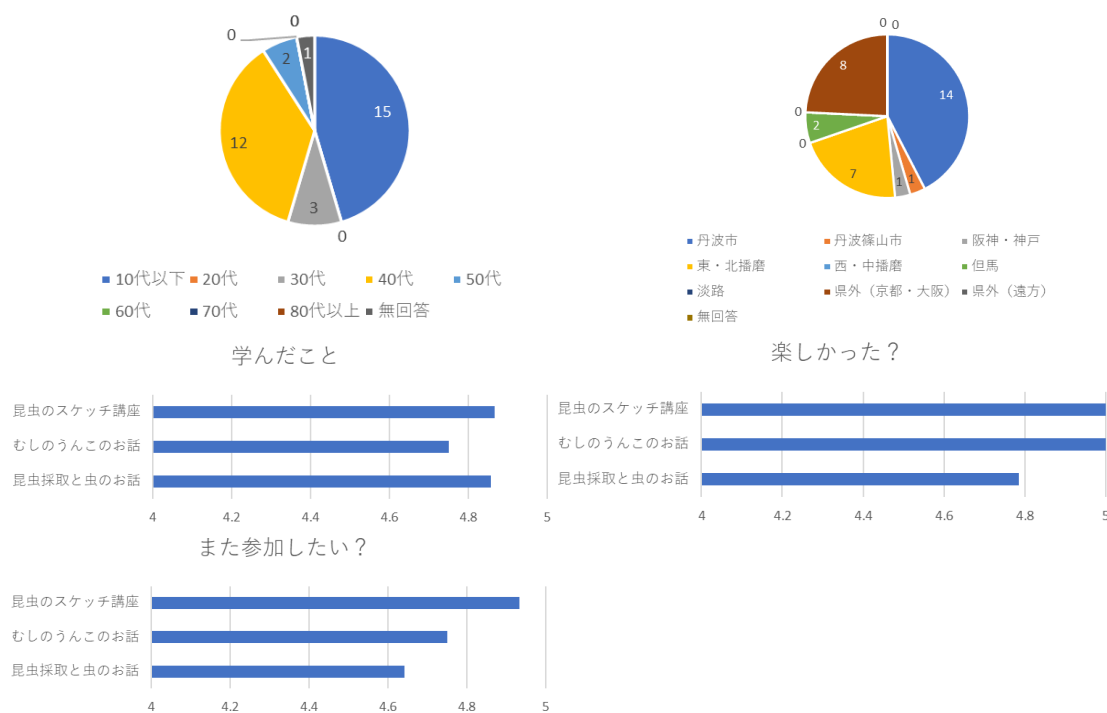
②夏季特別展「むしのうんこ展」

伊丹市昆虫館からパッケージで展示を借用して実施しました。

関連ワークショップとして昆虫採集と虫のおはなし、昆虫のスケッチ講座を実施しました。アンケート結果は図6のとおりです。親子連れが多く訪れたため、参加者の年齢層は10代と40代に偏りました。どのワークショップも生体・標本を通して本物の昆虫を間近で見る体験ができたためか、満足度が高い印象でした。



図6 「むしのうんこ展」関連ワークショップのアンケート結果

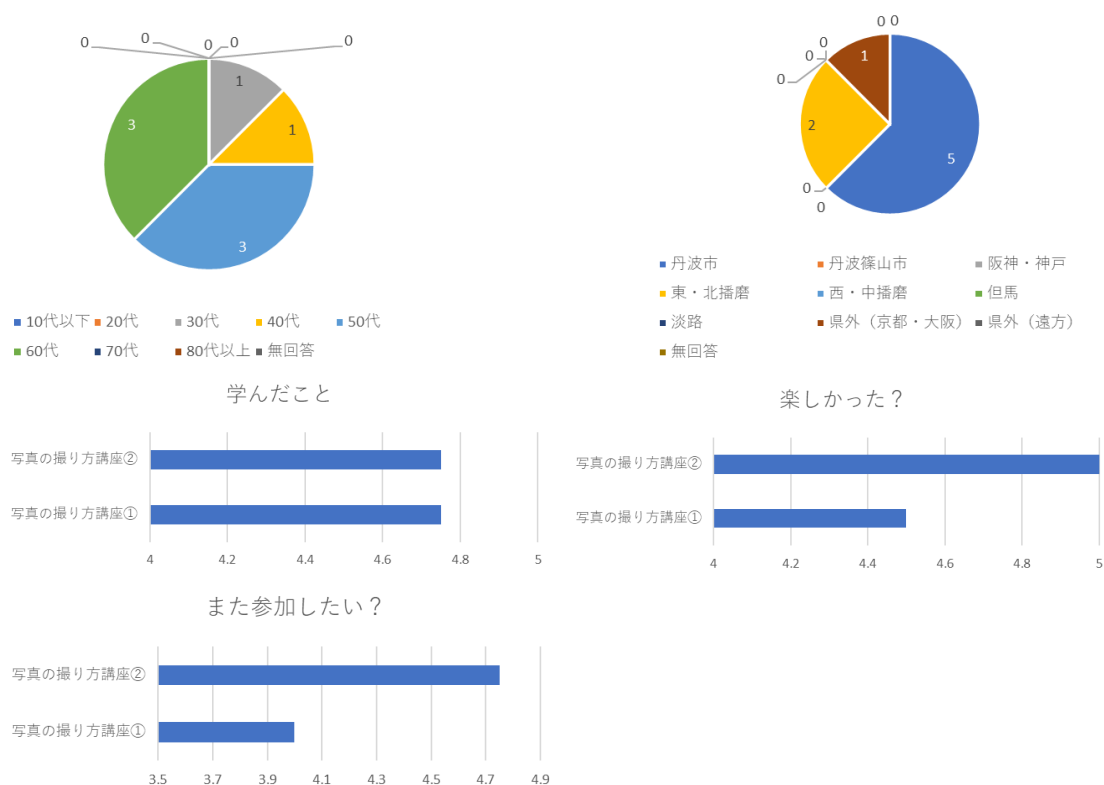


③秋季写真展「撮っちゃったたんば 2024」

昨年に引き続き、市民から写真を募集して展示をしたイベントです。今年も水分れフィールドミュージアム友の会から地域の昔の写真をお借りして展示しました。来館者アンケートには「丹波市のPRになっている、続けて欲しい」との回答もありました。関連ワークショップとして写真の撮り方講座を実施しました。人数は少ないものの、夏季特別展から一転して大人の方が集まるイベントになりました。



図7 「撮っちゃったたんば 2024」関連ワークショップのアンケート結果



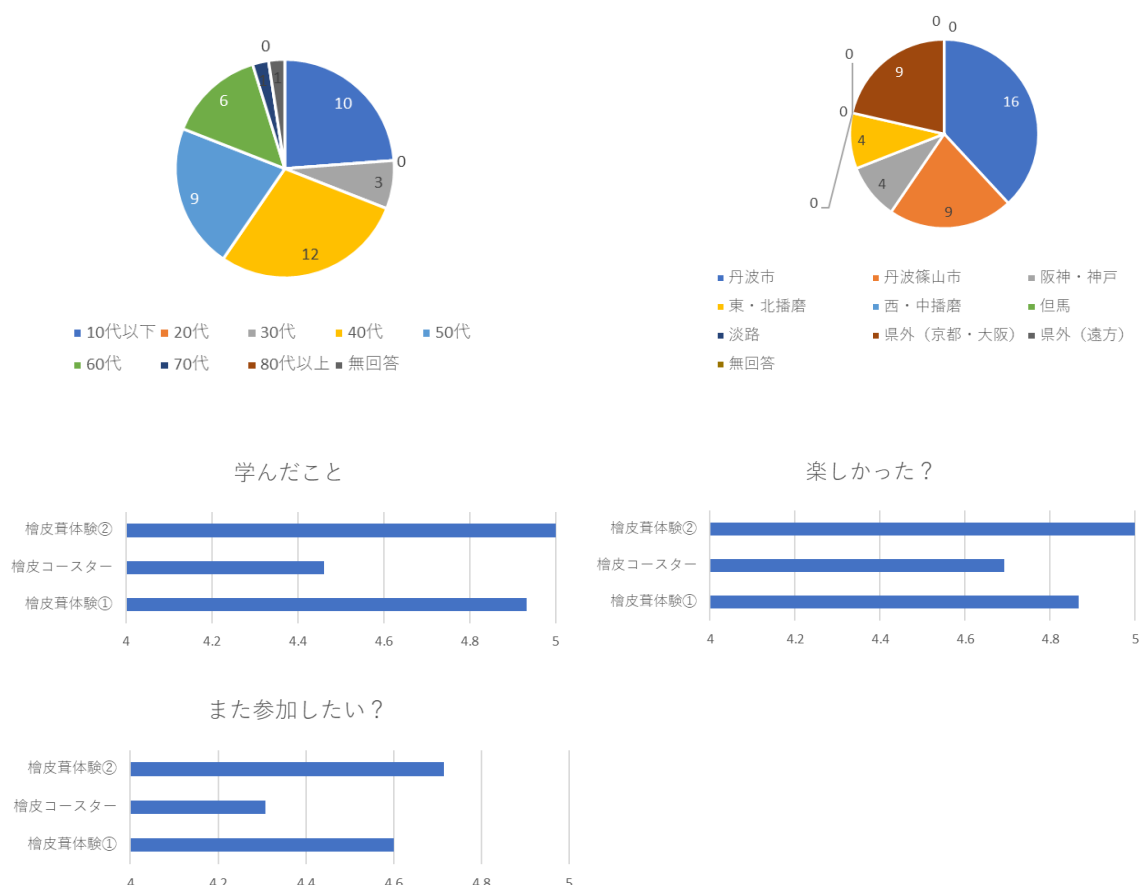
④冬季特別展「檜皮葺展」

丹波市内の檜皮葺職人と檜皮葺の学習に取り組んでいる上久下小学校に協力を得て実施しました。

関連ワークショップとして檜皮葺の竹釘打ち体験・檜皮を用いたコースターづくりをおこないました。アンケート結果は図8のとおりです。職人から直接話が聞けるイベントは高い満足度が得られました。林業、大工、竹細工をされている方など、専門性の高い方も来られ、熱心に質問する様子が見られました。また、他の展示よりも丹波篠山市や京都から来られる方の割合が増加しました。



図8 「檜皮葺展」関連ワークショップのアンケート結果



⑤その他イベントについて

・骨格標本づくりと動物の話

三田市の有馬富士公園学習センターへ行き、シカの足を組み立てるワークショップを実施しました。参加者は13名でした。



・丹波竜フェスタ

恐竜課が開催したイベント「丹波竜フェスタ」に市内の教育施設各館ワークショップを出展しました。水分れフィールドミュージアムでは、鳥類の翼を模したクラフトを実施しました。会場全体のワークショップ体験者は370名、水分れフィールドミュージアムのブースで工作をした人数は12名でした。



・ビオトープ調査

水分れフィールドミュージアムで借用している圃場に創出したビオトープ内に生息している生き物を月に2回程度の頻度で調べています。

今年は新たに丹波市の子1名をメンバーに加え、中学生4名を中心に調査・発表準備をおこないました。

・合同企画展「職員の推しの一品」藩陣屋跡を会場として、市内の教育施設が展示物を持ち寄り、合同企画展を実施しました。水分れフィールドミュージアムからはフクロウの本剥製・キツネの本剥製・栗の乾燥標本を展示しました。来場者数は333名でした。



3. 学校対応

令和6年度に実施した学校対象の来館対応・出前授業は表5～7のとおりです。小中学校の来館件数は令和5年度の8件から2件増えました。出前授業・こども園の来館件数は昨年度と同様でした。

【資料1】

今年は近隣の中学校が地域学習の一環で水分れフィールドミュージアムに質問に来る機会がありました。館で所有している資料では回答が難しいものもあったため、引き続き地域学習を支えられるよう、春日町誌・柏原町誌を収集しました。

表5 令和6年度来館小中学校

地域	来館小学校名	回数	人数
柏原	新井小学校	1	15
春日	春日部小学校	1	9
氷上	東小学校	1	52
山南	小川小学校	2	46
青垣	青垣小学校	1	33
山南	上久下小学校	1	4
福知山市	福知山高校付属中学校	1	38
春日	春日中学校	1	8
柏原	柏原中学校	1	6
合 計		10	211

表6 令和6年度来館こども園

こども園	回数	人数
認定こども園いくさと	2	26
認定こども園ふたば	1	43
認定こども園あいいの丘	1	32
ミライズにじ	1	34
合 計	5	135

表7 令和6年度出前授業

出前授業	回数	人数
崇広小学校	1	77
東小学校	2	63
市島中学校	2	62
氷上高校	1	75
合 計	6	277

4. 館内の展示物修繕・整理・作成

- ・模型の穴埋めといたずら防止のための足止め設置

ロビーの地形図、常設展内の日本地図は目印として立てているピンを別のところに移してしまういたずらをされてしまうので、修繕・足止めの設置をしました。



・プラスチックケースの交換

展示に使われているケースが白く変色していたため、新しく購入して付け替えました。



・3Dプリンターの利用と触れる地形図の作成

青い鳥学級（視覚障がい者を対象とした社会人学級）を対象に館内解説をする際に、3Dプリンターを用いて水分れFM周辺の地形を印刷し、麻紐をはりつけて分水界を表現した模型を触れる展示物として使用しました。



・海面上昇模型の清掃

水を使う展示物なのでカビが発生していました。タンクを清掃し、模型のシリコンを外して内部に溜まったゴミを取り除きました。



・書籍と備品の整理→パンフレットまとめ、町誌の収集

倉庫に保管されていた水分れ資料館の資料（主に分水界を通る市町村の観光パンフレットなど）をリストアップしてまとめ、古い情報を更新するために同じ市町村のパンフレットを収集して新旧比較できるようにファイルにまとめる作業をしています。

また、柏原・春日町の町誌を収集して配架しました。

令和6年度の取り組みと達成率

令和6年度第1回運営委員会で掲げた目標について、達成したもの・及第点に至らないが取り組んだもの・取り組めなかったものに分類し、下記のとおりまとめました。達成したものを1点、取り組んだものを0.5点、取り組めなかったものを0点として項目数で割ったところ、達成率は52%でした。

1. 博学・博博連携の推進

(1) ミュージアム連絡会

- ☒ 市内社会教育施設共同の連携誌「わっと！みゅーじあむ」を発刊
- ☒ 市内社会教育施設合同ワークショップイベントを開催
- ▲不定期・継続的に、青垣いきものふれあいの里と当館との間で人的交流
(お互いの館で勤務)
- ☐ 学芸員対象の研修を実施
- ☒ 市内社会教育施設で合同企画展を実施
- ☐ ちーたんの館所属の教育普及専門員と骨格標本の作製

(2) 学校・他施設と協力した展示

- ☒ 中央図書館、(公益財団法人)兵庫丹波の森協会、兵庫県森林動物研究センター等と共催・協力し、展示やワークショップを開催(春季企画展)
- ☒ 兵庫県立人と自然の博物館 地球科学研究グループと共催の展示及びワークショップを開催
- ☒ 丹波市教育委員会 学校教育課主催の「ふるさと教育展示会」を当館2階で開催予定

(3) 市内中学校理科教員とのコラボ授業の実施

- ☒ 第59回 兵庫県中学校理科研究大会 丹有大会に向けて、当館の標本などを用いて、当館の教育普及専門員と中学校理科教員が共同で授業を実施

(4) 「トライやる・ウィーク」実習生の受入れ

- ☒ 「トライやる・ウィーク」実習生として、市内の中学生を受け入れ(5日間)

2. 地域やその他団体との連携

(1) 地域

- ☐ さくらまつり関係者の駐車場として、駐車場を貸し出し
- ☒ 生郷まつりに出演する東小学校児童の更衣室として多目的室を貸し出し
- ☒ 市内のグループや個人を講師とし、市内の資源を活用したワークショップを開催

(2) 水分れフィールドミュージアム友の会

- ☒ イベント広報、参加申し込み対応、会場貸し出し等
- ☒ ワークショップ開発実施
- ☐ ミニ展示作成、展示・保管用の標本作成

(3) 市民プラザでの出張展示

- ☐ 丹波市市民活動支援センターで開催されるイベントにて出張展示

3. 館内展示物及び資料の充実

(1) 標本の充実

- ▲昆虫標本、骨格標本、樹脂封入標本等の作製と整理、展示
- ☐ 貸出用の標本の整理
- ☒ ハンズオン用標本の充実

(2) 図書の充実

- ▲企画展の内容を中心に、計画的に図書を購入→檜皮葺・調べ学習用の書籍を購入

(3) 館内展示物の作成

- ▲常設展入口にパネル展示→リニューアルオープン時に流していた動画で代用
- ☐ 公園に水分れフィールドミュージアム誘導のためのパネル展示